

ひとりごと

「新しい趣味」

私は東京に来て新しい趣味を見つけた。それは「走ること」である。

急ぐ時に走ることはあっても、自発的に走ることは一生無縁だと思っていた私が走り始めたきっかけは、昨年先輩に、抽選なんだけどハーフマラソンに参加してみないかと誘われたことである。いいっすね、と軽い気持ちで申し込んだら見事当選し、参加しないこともできたのだが、まあでもこんな機会もうないしなあ…と思い切って参加することにした。今振り返ってみてもよく決心したなと思うのだが、それが大会の3か月前であった。

人生で5キロ以上走ったことがなかった私は、途中で走れなくなった時のために定期券を持って近所の地下鉄沿いの道で練習を始めた。(実際に足が痛すぎて何度か地下鉄で帰宅した。) 練習を繰り返すうちに、走っている時は携帯とかも見ないので考えごとに集中できるのはいいなと思った。靴さえあれば自分が好きな時間にできるということもあって続けやすく、深夜に日常の些細なことから、今後の人生、みたいな壮大なことまで考えながら練習を続けて、なんとか本番までに20キロ弱まで距離を伸ばした。しかしタイムが問題で、マラソンには途中何箇所か関門があり、その関門ごと決められた時間に間に合わないところで失格になる。ということの本番の1週間前に知って絶望したのだが、私は必勝法を編み出した。それは自分の走る速度よりやや速い音楽を聴きながら走り、その音楽に合わせて速度を保ち続けるというものである。

本番当日、下手したら第1関門で失格になる可能性におびえながらも、ひたすら音楽に遅れないように足を動かすことだけに集中した。さすがにこの日はそれ以外に何も考える余裕がなかったので機械になった気分で走り続け、最終的に各関門を全てギリギリで通過し、制限時間2時間30分のところ2時間29分40秒という(ある意味)奇跡のタイムで完走した。速く走ろうと思うと考えごとではできないので、私はタイムを追求する領域には行きつけないと悟ったが、今でも考えごとをしながらかゆっこり走ることは趣味として続けている。

この記事も、走りながら考えた。地元に戻っても走ることは続けたいと思うし、いつかこの記事を書いたことを走りながら思い出したい。

(I.S)

「教育委員会月報 令和5年8月号 No.886」

- ・発行・著作 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課
- ・〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
- ・TEL:03-5253-4111 (代表)
- ・URL: <https://www.mext.go.jp>



文部科学省